

# 平成30年度 第5回吉川区地域協議会次第

日時：平成30年7月19日（木）

午後6時30分から

場所：吉川コミュニティプラザ 大会議室

## 1 開 会

## 2 会長あいさつ

## 3 報告事項

### (1) 会長報告

### (2) 委員報告

### (3) 事務局報告

## 4 協議事項

### (1) 吉川区地域活動支援事業について

### (2) 部会検討事項等について

### (3) 吉川区地域協議会委員視察研修について

## 5 総合事務所からの諸連絡について

## 6 その他

## 7 閉 会

平成30年6月21日

吉川区総合事務所長 様

吉川区地域協議会  
会長 片桐 雄二

平成30年度の地域活動支援事業の配分額に係る残額の取扱いについて（報告）

表題のことについては平成30年5月29日付け、『吉川区に係る平成30年度の地域活動支援事業の審査について（報告）』（様式：別紙5）により、「残額152千円の取扱い（二次募集の実施の是非等）は、第4回吉川区地域協議会で協議するものとする」ことを報告しておりますが、平成30年6月21日に開催された第4回吉川区地域協議会において、下記の内容で追加募集（二次募集）を行うものと決定したので報告します。

記

1 追加募集（二次募集）の内容

- ・補助金額：152千円
- ・募集期間：平成30年7月2日（月）から7月12日（木）まで

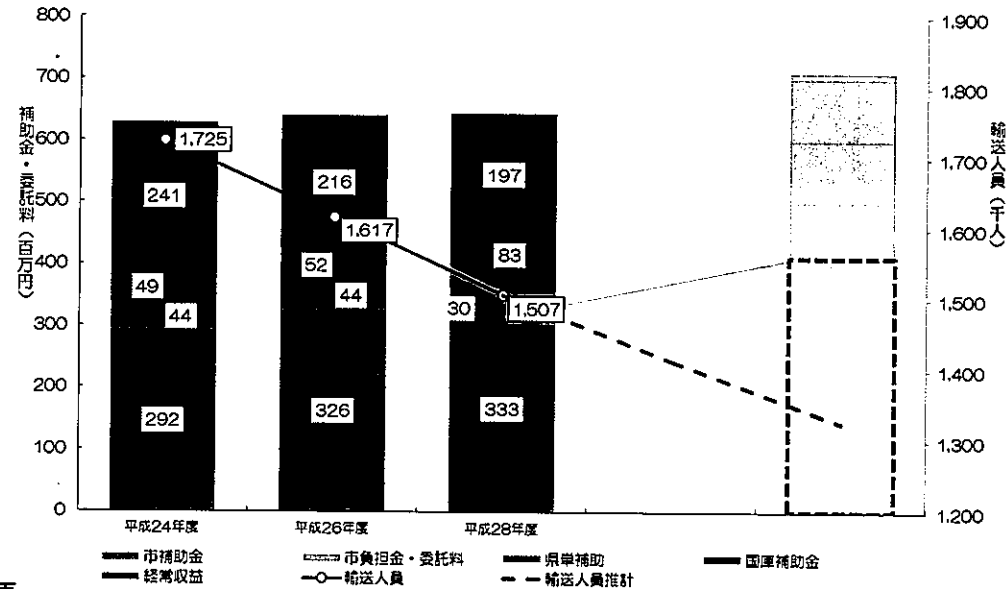
# 次期総合公共交通計画の策定について

第5回吉川区地域協議会  
平成30年7月19日  
報告資料No.2

## 1 計画策定の目的

- ・高齢化の進行や運転免許返納者の増加に伴い、これまで以上にきめ細かな公共交通を求める機運が高まっており、住民の需要を的確に捉え、利用しやすく、「乗ってもらえる」公共交通を再構築する必要がある。
- ・一方、少子化や人口減少、自家用車の普及が進む中、公共交通の利用者は減少傾向にあり、安定的な運行を維持するための市の財政負担は年々増大していることから、将来にわたって持続可能な公共交通を確保する必要がある。

### ■路線バス輸送人員並びに収入及び補助金の推移



## 2 計画の概要

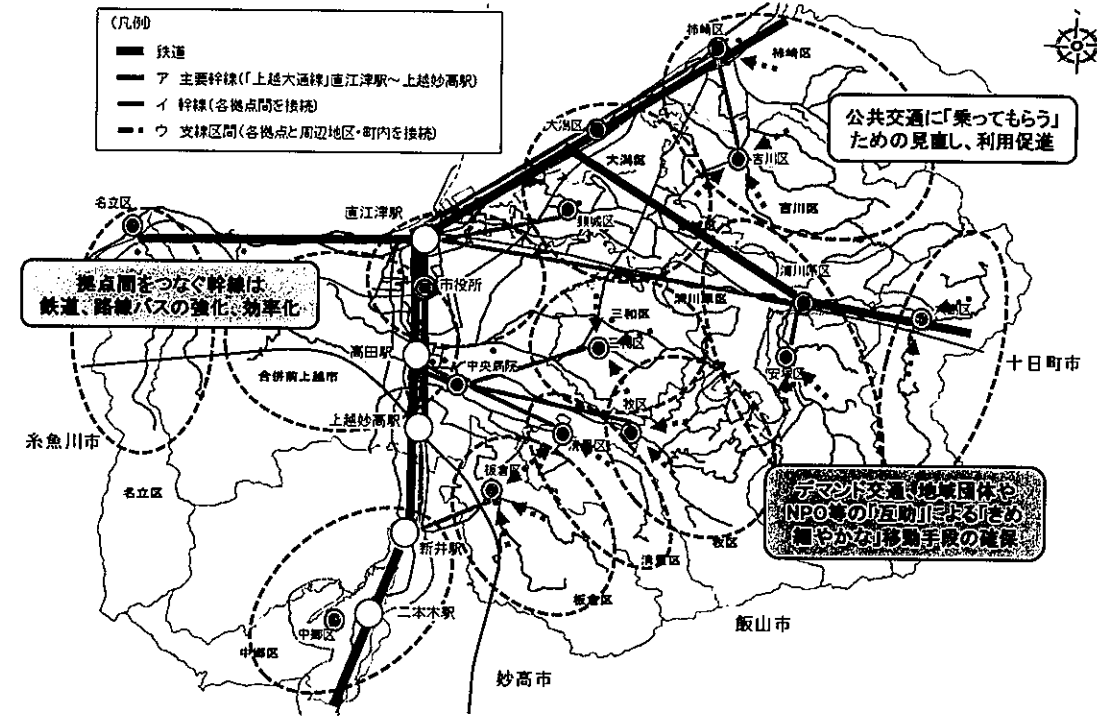
- (1) 計画区域 上越市全域
- (2) 計画期間 中間見直しを含め、平成32年度から8年から10年程度を想定
- (3) 公共交通ネットワークのイメージ

- ・バス路線を、基幹となる「主要幹線」、駅と各区をつなぐ「幹線」、地域内のきめ細やかな移動手段を確保する「支線」に役割分担し、役割に応じた本数、ダイヤ等を設定
- ・従来のバスに限らず、利用頻度や人数などに応じ、より小型の車両による「乗合タクシー」や、地域住民のボランティアによる「互助・自助」による移送など、きめ細かで使いやすく、効率的な運行形態を設定
- ・公共交通の維持が困難となっている現状を共有し、住民の参加による検討

## 3 策定スケジュール

	市全体の検討	各地域における検討
～H30年 8月	・現行計画の評価、全市的な現状の把握 (市民アンケート、乗降調査等)	・各地域の現状の把握 (懇話会、地域の団体との意見交換等)
～H31年 2月	・地域公共交通網の見直し	・地域の再編案の検討、住民との協議等
3月	・計画の骨子完成	
～11月	・計画案の作成	・各地域の再編案の検討、合意形成
～H32年 2月	・計画案の完成、パブリックコメント	
3月	・計画の策定	

### ■公共交通ネットワークのイメージ



### ■支線における運行形態のイメージ

1人当たり利用頻度	利用人数/便				運行形態【市の支援】		運行本数
	多い	少ない	10人以上	4～9人	2～3人	1人	
○		○	○			定時 デマンド	多い
				○		路線バス【運行補助】 スクール混乗バス【市営】	
○					○	定時	少ない
					○	乗合タクシー【運行補助】 自家用有償旅客運送【運行補助】 互助・自助による移送【車両維持費支援】	
	○					デマンド	
					○		相乗りタクシー【運賃補助 週3回】 通院・買い物タクシー【運賃補助 週1回】

### ■移動手段の例

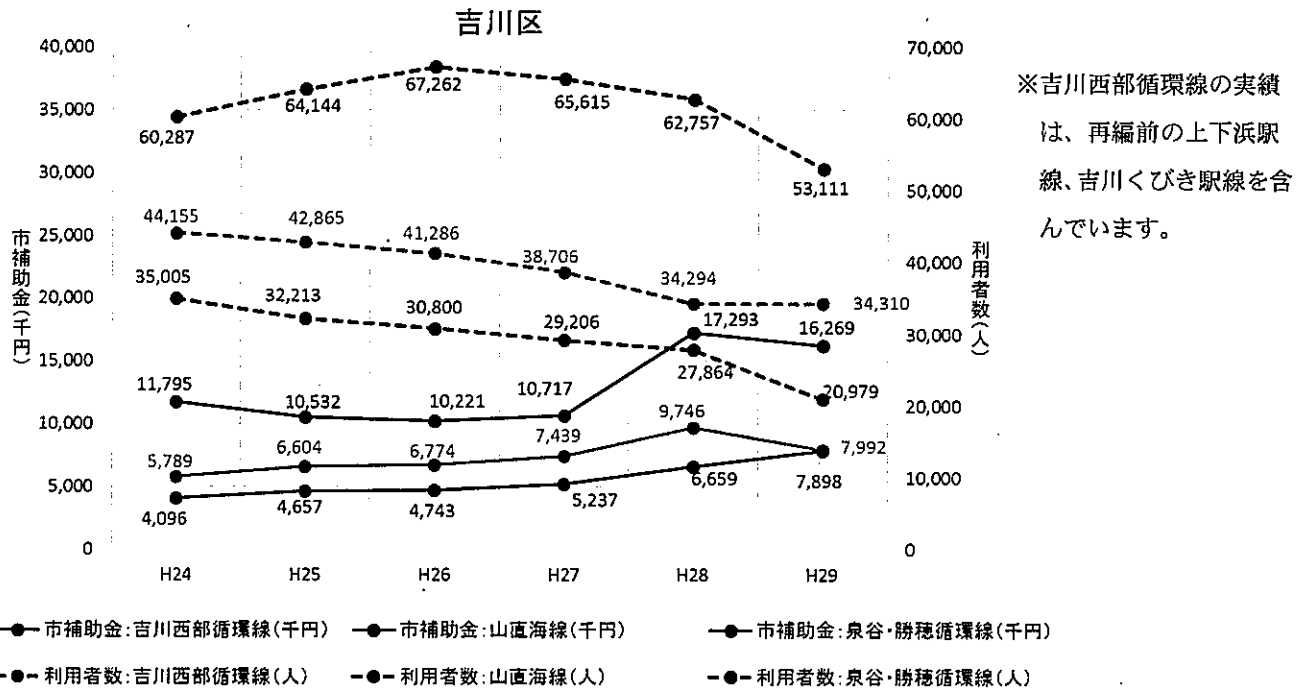
移動手段	内容
スクール混乗バス	・小中学生のスクールバスに、一般利用者が乗車 ※当市5区で運行
乗合タクシー	・タクシーやジャンボタクシーの車両を使用し、バスのように利用者を乗り合いで輸送 ※中郷区で運行
NPO等による輸送	・公共交通がない地域において、NPO法人や町内会等が、白ナンバーの自家用車でバスを運行 ※妙高市、長岡市、魚沼市で事例あり
民間企業等が運営する循環バス	・商店街などがバス会社へ委託などによりバスを運行 ※高松市丸亀町商店街振興組合「まちバス」
互助・自助による輸送	・地域の自治会やNPO法人が、自ら運行ルートやダイヤを決め、地域の助け合いで利用者を輸送 ※新潟市「住民バス」
タクシーの運賃助成	・タクシーの運賃割引を受けることができる利用券を配付 (相乗りは割引率が高い) ※前橋市で実施

## 吉川区の主な路線バスの状況

### 1 路線の概要

路線	運行経路	便数	
		平日	土休日
吉川西部循環線	吉川区総合事務所前～上下浜駅前・くびき駅前～吉川区総合事務所前	8	4
山直海線	柿崎バスターミナル～村屋・尾神	18	6
泉谷・勝穂循環線	吉川区総合事務所前～後生寺・平等寺～吉川区総合事務所前	7	3

### 2 利用者数と市補助金の推移



### 3 収支状況

吉川西部循環線 (平日1日8便)      山直海線 (平日1日18便)      泉谷・勝穂循環線 (平日1日7便)

1便につき、                      16.1人      10.4人      11.4人      が利用しています。

平日1日の運行で、      約3.7万円      約7.2万円      約3.4万円      の赤字が発生しています。

赤字の解消には、1便      32人      25人      59人      が新たに利用する必要があります。

#### 収支状況

H29年度	吉川西部循環線	山直海線	泉谷・勝穂循環線	合計
収入	4,876	8,579	1,717	15,172
支出	14,654	28,942	10,664	54,260
欠損	▲9,777	▲20,363	▲8,948	▲39,088
国県補助金	1,783	4,093	1,049	6,925
市補助金	7,992	16,269	7,898	32,159
収支率	33.3%	29.6%	16.1%	28.0%

#### 利用者1人当たり収支状況

H29年度	吉川西部循環線	山直海線	泉谷・勝穂循環線	合計
収入	142	162	82	140
支出	427	545	508	501
欠損	▲285	▲383	▲426	▲361
国県補助金	52	77	50	64
市補助金	233	306	376	297